

## 決算特別委員会審査から②

こども家庭局は、自民党岡田ゆうじ議員の仲介で統一協会の関連団体である世界平和青年学生連合から寄付金を受け取っていました。さらに感謝状も出し、記者発表と記念撮影までおこなっていたことが明らかになりました。2017年から2021年までで430件の寄付があった中で、記者発表はわずか5件です。高額寄付等の他団体に並んで異例の厚遇です。大かわら議員は「議員の紹介だから忖度があったのではないか。市のホームページにアップしていることが団体の宣伝をしている。感謝状等の悪用で被害の拡大が懸念される」と指摘し、寄付金の返却と感謝状の返還を拒んでいる団体に対して、毅然とした対応をとるよう厳しく追及しました。

### 答弁ダイジェスト

森川副局長：決して隠ぺいや忖度はない。

9月29日

## 市民と地域を支える 交通政策に転換を！ 交通局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

神戸市交通局は公営交通として民間のバス事業者とはまた違う、安全安心の確保、サービスの提供だけではなく、住民

- 質疑項目
1. 統一協会問題について
  2. 公立保育所の正規保育士の増員について
  3. すこやか保育の体制強化について

大かわら議員：団体のホームページを少し見るだけでも統一協会とのかかわりが明確に記載されている。団体の調査自体も曖昧にしたのではないか。記者発表の文章では、この団体の教育プログラムを褒め称えているが、どのようなものか知っているのか。

森川副局長：調べたものを記録していないので答えられない。教育プログラムについて細かくは知らない。

大かわら議員：協会の信者が協会がいかに素晴らしいか、中高生を洗脳するプログラムだ。守るべき子どもたちが犠牲になっているのに、神戸市が評価し、お墨付きを与えている。

中山局長：団体の信頼性を高める結果になってしまったことは反省しなければいけない。今団体に寄付金の返却と感謝

- 質疑項目
1. データを活用したバス路線のあり方に関する基本的考え方について
  2. 経営状況について
  3. 市営地下鉄海岸線について

の福祉の向上に資するという役割があります。交通局はこれまで新自由主義的考えから経営の合理化を進めてきました。それによりバス路線の減便が進み、職員数も減り、結果的にサービスの低下を広げ、利用客が減り、経営悪化が進むという悪循環になっています。山本議員は「諸外国では地域公共交通への補助を赤字ではなく地域を支えるための支出(社会的便益)と考え、都市鉄道の運行費用の多くを行政で支えていると国交省も認

9月28日

## 『反社会的な活動団体』との関係 断ち毅然とした対応で市民守れ こども家庭局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

状の返還の申し入れをしている。こうした団体とは今後一切関わりがないよう努めていきたい。

大かわら議員：(統一協会の)2009年のコンプライアンス宣言以降も神戸でも被害が続いている。神戸市として、統一協会のような「反社会的な活動をしている団体」と一切の関係を断つということを、局として明確に発信すべきだ。

めている。神戸市もまちづくりに貢献するという観点で、一般会計からの繰入金だけではなく、経営安定化のアプローチの仕方をすべきだ」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

習田副局長：なかなか直接的な補助は難しいが、関連する例えばバスターミナルについて、一般会計負担でできる範囲とする、あるいは乗客増に資するよう各局とも話をしていきたい。

山本議員：まちづくりを考えて交通事業者だけではなく、あらゆる事業者、地域の商店、(福祉)サービス提供事業者など様々な意見を集めて、交通弱者をうまない策をすすめるべきだ。

ぜひご視聴ください

## 林まさひと議員が一般質問

日時 10月25日(火)13時30分頃から

場所 市議会本会議場 \*時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください



こちらから

### 委員会(予算・決算特別委員会)や議会の質疑時間について

日本共産党神戸市会議員団が発行しております「市議会だより」では、日本共産党神戸市会議員団の議会や委員会等の質疑の日時をお知らせしておりますが、質疑者や休憩時間などの都合により、お知らせしております質疑時間より最長1時間近く前後することがございます。ご了承ください。

傍聴やインターネット中継でご覧になる際は、時間に余裕をもってご覧いただき、より詳しい質疑時間は、質疑日の当日に日本共産党神戸市会議員団までお問い合わせください。

お問い合わせ ☎078-322-5847

9月29日

## 多様な社会のあり方を認めていくためにも パートナーシップ制度の導入を 福祉局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

自治体が同性カップルを認証する「パートナーシップ制度」はどんどん広がり、制度のある自治体に住む人は総人口の5割を超えるほどになりました。政令

神戸市で生活する市民の居住権や移動の自由を守るためには地域公共交通は重要です。これを保証し、提供していくのが本来地方自治体の仕事です。市議団は西北神地域の住民の重要な移動手段である神戸電鉄へ敬老パスを適用するよう市民の声をもとに求めてきました。その声に押され、苦肉の代替策として神鉄シーパスワンが始まりました。シーパスワンはこれまで多くの市民に利用されてきました。いま必要なのはさらに利用を促進するため、敬老パスを神戸電鉄へも広げることではないかと求める林議員に対し、

10月3日

## 通学路の安全対策は 早急に改善を 危機管理室・消防局審査で西議員



質問する西ただす議員

学校の通学路の危険箇所は、危機管理室が、教育委員会、建設局と協力しながら安全対策に取り組んでいます。ところが学校から毎年危険箇所の要望が出されても十分対応できていないのが現状です。西議員は、「東灘区の小学校でヒアリングした際、毎年3カ所ぐらい改善を

- 1. 介護職員の待遇改善について
- 2. パートナーシップ制度について
- 3. 認知症対策について
- 4. 国民健康保険の滞納対策について

質疑項目

市でも導入していないのは仙台市、名古屋市と神戸市の3市だけとなり、その名古屋市は要綱がすでにでき、意見募集を始めます。仙台市も審議会から導入すべきとの答申をうけ資料を集め現在検討を進めています。松本議員は「日本では法律で同性婚を認めていないから、自治体はできることとしてパートナーシップ制度を導入している。政令市最下位になる前に神戸市も導入すべき」と求めました。

### 答弁ダイジェスト

**松本議員：**憲法13条は「全ての国民は個人として尊重される」、14条は「法の下の平等」をうたっているが、パートナーシップ制度の導入はこの法律に基づけばすべきではないか。

- 1. 三宮再開発、2号館について
- 2. 西神中央駅前リノベーション事業について
- 3. 西区役所の利便性について
- 4. 狩場台や春日台の商業施設のリニューアルについて
- 5. 地域公共交通政策について
- 6. 新長田駅バスロータリーについて

——森本真議員

当局は「有識者会議などで鉄軌道に適應するのは現実的ではないといわれている。ICパスで高齢者の利用促進をめざす」と後ろ向きです。林議員は「名古屋市でこの2月から敬老パスを鉄道に適應して実施している。現実的でないという考えは乗り越え、実施すべき」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

**白井部長：**敬老パスについては、関係

消防局

- 1. コロナなど過密労働問題とあわせた職員増について
- 2. コロナから職員と家族を守る対策について

危機管理室

- 1. 水害対応について
- 2. 通学路の安全対策について

質疑項目

求めているが、解決するのは1カ所程度と言われていた」と指摘。児童・生徒の安全を考えるなら、より多くの問題箇所を解決できるよう、通学路交通安全推進会議の場なども利用して早急に改善するよう求めました。

また消防局審査では、救急隊がコロナ禍の中、業務もひっ迫し、精神的な負担を抱えながら活動されているとして、救急隊を増隊してコロナ第8波に備えるよ

**森下局長：**国によって判断されるべきこと。憲法の定めとパートナーシップの導入について、直接定めたものでない、直接的には関係がないという認識だ。

**松本議員：**具体的に聞くが、女性同士、男性同士が市営住宅入りたい時、パートナーシップ制度がある自治体は認めているが、神戸市は入れない。週1回の相談を設けているだけでどう2人の気持ちに寄り添うのか。

**森下局長：**パートナーシップ制度がなければできないということではない。現実どうであるかという話と理屈上の話は別問題と考えている。

**松本議員：**札幌地裁では同性婚を認めるという判決まで出ているのに、なぜここまで嫌がるのか全く理解できない。多様な社会のあり方を認めていく上で避けて通れないと認識すべきだ。

9月30日

## 地域公共交通を強化し、 敬老パスをより良いものに！ 都市局審査で林議員



質問する林まさひと議員

部局の判断となるが、ご指摘のことについては各部局に伝える。

**林議員：**パスの利用で市場商店街の活性化にも繋がる、神戸電鉄の活性化のお立場からも努力すべきだ。

う求めました。

### 答弁ダイジェスト

**西議員：**何年か前、15カ所信号機を設置してほしいという要望があったが、1カ所しかできなかったと聞いた。信号機などは命や安全にかかわるもの、これも予算いっぱい進められないのか。

**筒井危機管理監：**様々な地域的な状況や交通、道路の状況など、総合的に判断された結果だと思う。

**西議員：**信号というのは必要だから求めているものだ。

消防局も危機管理室も住民の命・安全を守る観点から非常に大事な局。予算がないからできないというのは問題だ。必要なものを求めていくという強い姿勢で進めてほしい。